



校長室より



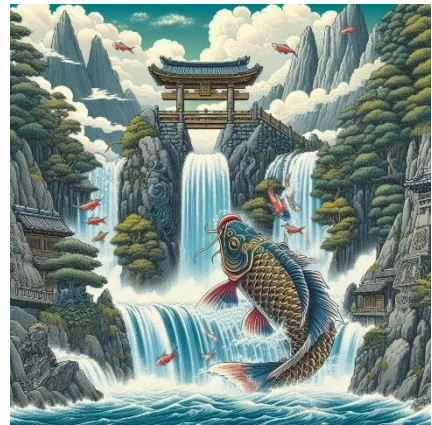
令和6年1月9日

No.20

新年、明けましておめでとうございます。9日（火）、3学期の始業式を迎えました。お正月1日（月）の夕刻、「能登半島地震」において、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。今なお多くの方々が避難生活を送られており、一刻も早く通常生活に戻られることを願うばかりです。また、2日（火）には、羽田空港での飛行機事故もあり、災害は、日時を選んでくれない、いつ起こるかわからないことを改めて思い知らされました。

始業式で、「一年の計は元旦にあり」という話をしました。1月1日の午前中のことを元旦と言いますが、新しい年をどう過ごすのか（目標）を考えられた人はいましたでしょうか。災害の報道でそんな余裕がなかったという人はたくさんいると思います。まだの人は遅くはありませんので、具体的な目標を立ててみてください。

今年は、辰年で、「成功という芽が成長して生き、姿をととのえていく」年だと言われています。誰もが期待したくなります。でも、成功を勝ち取るためには努力が必要です。高等部の皆さんには、人生を決める試練が待っているかもしれません。この成功をおさめるために突破しなければならない難関を「登竜門」と言います。急流で名高い竜門と言う滝があり、その滝を登りきることでできた鯉は竜になるという伝説から、若手が成功をおさめるための通過点となる事柄を意味する中国の故事ですね。



高等部3年生にとっては、最終学年をしめくくる大切な時期となります。卒業までのカウントダウンが始まりますが、健康に留意し、一日一日を大切にしながら学校生活を送ってほしいと思います。在校生の皆さんは、あきらめずにチャレンジしていきたいこと、好きなことをぜひ見つけて、ゆっくり取り組んでいてもらいたいと思います。さあ、3学期、みなさん、がんばっていきましょう！